

# 1935

シリーズ  
とやま20世紀

昭和10年8月17日(土)

## 昭和初期を代表する近代建築 富山県庁舎が完成

◆この日、新しい県庁舎(現本館)が完成した。富山城址にあった元の県庁舎が焼失したため、移転新築されたもの。設計は、国会議事堂の設計を手がけた大熊喜邦工学博士らが担当した◆当時の富山ではモダンな鉄筋コンクリート4階建(一部5階建)で、他に類を見ない巨大な建物。今では官公庁やオフィスが建ち並んでいるが、当時は神通川廃川地を埋め立てたばかりで建物もほとんどなく、ポツンと建っていた状態だった◆耐火・耐震に配慮された堅牢な県庁舎本館は、昭和20年の富山大空襲にも耐えた。一部の改修以外は基本的な構造は変更されておらず、築後65年を経た今でも当時と変わらない姿を見せている。



完成当時の県庁舎